



ベルリン、パリ、ミュンヘンに所蔵されている連作のバージョン（P95,171,185,209）では、冠と襟を構成する木の扱いが微妙に異なっており、胸から飛び出しているレモンやオレンジの質感も変わっている。さらに、パリのバージョンは装飾的な境界線で縁どられているのに対し、ミュンヘンのバージョンは柱で仕切られている。ミュンヘンの人物のほうが荒い質感であるほか、木の配置が複雑で、枯れた枝が多く描かれている。シリーズ全体で、わらの上着の質感や文字がさまざまで、「M」（マクシミリアン2世の頭文字）が描かれ、「M」の文字が上下逆さに入っているものもある。

「フェルディナンド1世の娘の半身像」  
（マルガレーテ女大公？）

---

1563年頃

木板に油彩、44 x 34 cm

ウィーン 美術史美術館